



2023.4.5

No. 351

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物認可

MONTHLY

れんごう

北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

藤盛敏弘

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

第20回 統一地方選挙

後半戦が始まります

投票日に投票に行けない方は 「期日前投票」を

理由はなんでもOK!
手続きはかんたんです。



毎日が投票日



後半 ◀ 投票日前日(4月22日(土))まで期日前投票ができます!

札幌市以外の市長・
市議会議員選挙

告示日
4/16

4/17から毎日が投票日

町村長・
町村議会議員選挙

告示日
4/18

4/19から毎日が投票日

投票日
2023年
4
月
23
日(日)

- 出張などの仕事や冠婚葬祭などの予定がある
- 旅行などの予定が入っている
- 入院や出産などでその日に投票に行けない

投票日に、急用が入ることもありますので、
事前に投票しておくとう安心です。

投票できる期間 告示日の翌日から投票日の前日まで

投票場所 選挙人名簿に登録されている
市区町村の「期日前投票所」

投票できる時間 8:30~20:00 ※それぞれ2時間以内の繰上げ繰下げあり

詳しくはお住まいの地域の選挙管理委員会に確認してください

春の闘い、総力を挙げて挑む

2023春季生活闘争・統一地方選挙勝利 3.10全道総決起集会を開催

連合北海道(会長:杉山元)は3月10日、札幌市の共済ホールで「2023春季生活闘争・統一地方選挙勝利!! 3.10全道総決起集会」を開催し、大手先行組合の回答が集中するヤマ場を前に賃上げなどの処遇改善と、4月の統一地方選挙に挑戦する連合北海道推薦候補予定者の必勝に向けて意思統一を図った。新型コロナウイルス感染症の影響により、組合員が集まる形式での開催は4年ぶりとなる。

杉山会長は主催者挨拶で「2023春闘は、大手だけではなく全体の底上げが必要。連合本部の集計では25年ぶりに要求率が4%を超え4.49%であった。ベースアップ分の要求率を見ると、中小組合は大手を上回っている」と中小組合が積極的に要求を行ったと紹介し、「北海道の中小・地場組合もこの要求に追いつき、働きに見合った賃金水準への引き上げを勝ち取ろう」と述べた。



また、統一地方選挙闘争で連合北海道が推薦した池田まきさんと秋元克広市長についても触れ、「道民・札幌市民が未来に安心・安全、そして夢と希望が持てる社会を創ってくれると確信している。その実現のために、我々も共に汗をかこう」と集会参加者に呼び掛けた。



主催者挨拶をする杉山会長

2023春季生活闘争の方針を提起した藤盛事務局長は、「産業によって違いはあるものの、企業は、物価高への対応が社会的に求められていることや、『人への投資』が重要であることに理解を示しており、経営側の満額回答により、ヤマ場を迎える前に早期に妥結した構成組織もある。未来づくり春闘でデフレマインドを断ち切りステージを変える時だ。連合北海道は、先頭に立って闘いを進めていく」と翌週からのヤマ場に向けて、決意を述べた。

池田まき知事候補予定者、3期目に挑戦する秋元克広札幌市長、全道各地の北海道議会議員候補予定者、札幌市議会議員候補予定者もそれぞれ決意を述べ、参加者から激励の拍手を受けた。

[この記事のアドレス](https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/7796)

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/7796>

「3.8国際女性デー 全国統一北海道集会」開催

すべての女性たちの権利やはたらく女性の賃金向上の実現へ

連合では、3.8国際女性デーの取り組みを春季生活闘争の一環として位置づけ、全国統一行動を展開している。連合北海道も3月4日に対面とWEBのハイブリッドで集会を開催した。4年ぶりの対面を含めての開催となり、会場に集まった約80人を含め、9産別5地区126人が参加した。

はじめに、主催者を代表して、杉山元連合北海道会長が「国民はコロナ禍・物価高で苦しい生活を強いられ、この状況を脱却するには、賃上げは待ったなしである。連合北海道は、『パートナーシップ構築宣言』の実効ある取り組みを要請してきたところである。コロナ禍が弱い立場にある人に大きな影響を与え、更に円安・物価高が家計を強く圧迫している今、地方自治体の役割とその舵取りを担う地方政治の重要性が増している。そのような中、『市民・道民を置いてきぼりにしない、子どもたちを放置しない社会づくりを目指していく』との決意を表明

している知事候補予定者の池田まきさんへの支援をお願いしたい。国会等で差別発言が相次いでいるが、日本はG7で唯一『同性婚、LGBT・選択的夫婦別姓』の法制化をしていない。北海道も同性カップルの道営住宅入居への条件が壁となっている。多様性を認め合う社会の実現のために、連合北海道は『女性の参画機会の確保』に今後も力を入れて取り組んでいく」と挨拶した。

その後、来賓の「民主女性議員等ネットワーク会議」のみなさんが紹介され、代表して知事候補予定者の池田まきさんから決意表明があった。

基調講演では、連合総合政策推進局総合局長の井上久美枝さんから、「女性の働き方～性やライフスタイルに中立な税・社会保障制度の確立に向けて～」と題し講演があった。「戦前の民法は『妻の民法上の無能力』を規定しており、『身体にきはんを受くべき契約』には『夫』の許可が必要だった。現在、男女ともに非正規雇用者数が

増加しており、特に女性の過半数が非正規雇用となっている。この女性の非正規雇用を正規雇用に変えていかない限り、日本のジェンダーギャップ指数は上がらない。管理職比率、賃金など、働く男女には様々な格差がある。また、配偶者の収入によって制度に制限がかかるため、収入を気にしながら働かなければならない現状がある。連合は、『社会保険制度、税制、賃金制度について、良質な雇用の拡大と完全雇用の実現を前提に、就労を阻害せず働き方に中立的な制度の構築をめざす』とし、社会保険制度、税制、賃金制度の見直しを盛り込んだ『働き方に中立的な社会保険制度等の在り方に関する連合の考え方(たたき台)』を提案している。女性の参画が新しい扉を開く。しっかりと声を上げていこう」と話された。

産別報告では、自治労北海道本部女性部の菅野まみさんから、女性の働く権利確立運動強化月間についての取り組みや、全単組総支部対象に毎年行っている職場改善実態調査や権利実態調査、学習会等のとりくみについて報告があった。女性交流集会では更年期障害

を取り上げ、女性だけでなく男性の更年期障害についても学習を深めたことや、政治学習会においては、現役の議員から話を聞くことが政治を自分事としてとらえることに繋がったことから、今後の統一地方選挙に向けての取り組みの決意が述べられた。

その後、集会アピール案が賛成多数で採択され、最後に、金子ユリ連合北海道女性委員会委員長が「制度は政治で決められていく。女性が参画し意見を反映していくことが必要ということを改めてこの場で確認できた。連合女性委員会は今後もみなさんと同じ方向を向いて活動していく」とまとめ、閉会した。

国際女性デーは、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と女性の尊厳・人権の確保を表す「バラ」をシンボルに世界各国で様々な行動が展開されている。この集会から全道に向けて、すべての女性たちの権利やはたらく女性の賃金向上が実現されるように、今後も学習を重ね、取り組みを進めていこう。

〈この記事のアドレス〉

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/7788>



長時間労働の是正に向け、街宣を実施 3月6日は36(サブロク)の日

労働基準法で定める労働時間は、原則、1日8時間・週40時間以内とされており、会社がこれを超えて時間外労働(残業)を命じる場合には、労働基準法第36条に基づく労使協定、いわゆる「36(サブロク)協定」の締結と、労働基準監督署への届出が必要となっている。

しかしながら、連合が2019年に行った調査では、残業が命じられる場合に36協定の締結が必要であることを知っている人は55.3%、さらに、勤め先で36協定が締結されているのは59.1%となっており、多くの労働者は労使協定が必要であることを知らないまま残業を命じられている可能性がある。

連合では、3月6日を「36(サブロク)の日」として記念日登録をし、毎年、全国47都道府県にある地方連合会で一斉行動を実施しており、連合北海道(会長:杉山元)は3月6日の正午、札幌市の紀伊國屋書店前にて街頭宣伝を実施した。

杉山会長は、「長時間労働の是正には、36協定をしっ



ワークライフバランスの取れる働き方について述べる杉山会長

かりと締結していることが大切だ。昨年1年間、長時間労働や時間外労働の不払いに対する監督指導が前年を上回った。働く者が健康で、ワークライフバランスの取れる働き方が重要」と述べ、職場における36協定の

確認と長時間労働の是正を訴えた。

また、山田組織労働局長は、今次春闘の取り組みに触れ、「物価上昇以上の賃上げや労働条件の見直し、企業による積極的な労働者の処遇改善が、企業の未来づ

くりにつながる」と述べ、「人への投資」を求めた。

〈この記事のアドレス〉

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/7770>

道内の経済5団体と労使懇談会を開催 すべての労働者の賃金と労働条件の改善を

連合北海道(会長:杉山元)は3月3日、道内の経済5団体(北海道経済連合会・北海道商工会議所連合会・北海道商工会連合会・北海道経済同友会・北海道中小企業団体中央会)と札幌市内で労使懇談会を開催し、今次春季生活闘争の連合の考え方を説明するとともに、賃金の引き上げや雇用の安定、ジェンダー平等・多様性の推進などについて経済界の協力を求めた。

その中で杉山会長は、「産業・企業・経済・社会の活力の原動力である『人への投資』、特に月例給の引き上げにこだわる。『底上げ』『底支え』『格差是正』の取り組みを加速させ、働き方の改善と経済対策をセットにして経済を自立的な回復軌道にのせる重要な春闘である」と述べた上で、「賃上げの原資確保が困難な会社もある。『価格転嫁』や『適正取引』の実効ある取り組みは、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配に直結する」と社会全体での底上げの必要性を訴えた。

北海道経済連合会の真弓会長からは、「多様な選択肢の中から自社の実情に適した賃金の引き上げを実施すべき。処遇改善には原資が不可欠であり『サプライチェーン全体での成長と分配の好循環』や適正な取引や価格転嫁の取り組みが大変重要」と述べ、労使が目指している社会像



の認識が一致していることがうかがえた。

トラック運輸など輸送分野の組合が加盟する運輸労連出身の森下副会長は、「運送業界においても2024年4月から残業時間の上限規制が始まり、不十分ではあるものの長時間労働が少しは解消される。ただ、依然として賃金の低いトラック業界では、この産業の魅力をなくし、ドライバーのなり手がいなくなり、多数の荷物を配達できない社会がすぐそこにやってくる。賃金を引き上げ、働く人が魅力を感じる産業とするためには、適正な運賃の収受しれない」と述べ、適正な運賃交渉ができる環境整備への協力を要請した。

〈この記事のアドレス〉

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/7757>



4月の主な動き

- 13日(木) 13:30/連合会館
第19回中央執行委員会
- 18日(火) 10:30/苫小牧
金属機械部門連絡会
- 19日(水) 13:30/連合北海道会議室
E部門(情報・サービス)連絡会
- 19日(水) 15:30/ホテルポールスター札幌
中小・パート共闘会議およびC部門
(流通・食品・建設・一般)合同会議
- 20日(木) 13:30/連合北海道会議室
B部門(資源・化学・エネルギー)連絡会
- 20日(木) 15:30/連合北海道会議室
D部門(交通・運輸)連絡会
- 24日(月) 10:00/第1合同庁舎
北海道経済産業局に対する公正取引に関する要請
- 24日(月) 10:00/第3合同庁舎
公正取引委員会事務局に対する要請
- 24日(月) 15:00/ホテルポールスター札幌
第2回男女平等参画推進委員会
- 27日(木) 10:00/ホテルポールスター札幌
第7回執行委員会
- 27日(木) 12:30/ホテルポールスター札幌
第1回労働福祉事業団体役員推薦委員会

イベントカレンダー

- 27日(木) 13:00/ホテルポールスター札幌
組織・財政特別委員会第2回小委員会
- 27日(木) 14:00/ホテルポールスター札幌
第6回地協事務局長会議

第94回全道メーデー

4年ぶりの
リアル開催
です!

5月1日(月)午前9時30分開会
(午前8時45分から受付)

札幌市中央区大通西8丁目広場



第20回統一地方選挙の日程

- 9日(日) 前半投票日(知事・道議・札幌市長・札幌市議)
- 16日(日) 札幌除く市長・市議選挙告示日
- 18日(火) 町村長・町村議会議員選挙告示日
- 23日(日) 後半投票日